

電力自由化1年 生協による電力販売が拡大 ～2016年度末、グループ累計1.4億kwh、加入者9.5万人を見込む～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：浅田克己）は、電力自由化1年を迎えるにあたり、全国の生協グループにおける電気小売事業の概況を取りまとめましたのでご報告させていただきます。

昨年4月の電力自由化以降、従来の電力会社をメインプレーヤーに、ガス、石油など他エネルギー事業者をはじめ、流通小売、情報通信、地域電力などの消費者・地域密着型事業者の家庭向け電気小売事業への参入が相次いでいます。

2016年度に家庭向け電気小売事業を開始した6生協組織を合計すると、2016年4～11月の累計で、6,572万4,000kwhと既存電力を除く新電力会社の低圧電力販売量でランキング9位*に付け、2016年度末には1億4,000万kwh、加入者数9万5,000人までの拡大を見込んでいます。 *経済産業省電力統計より

電気小売事業に取り組む生協では、週1回が基本の宅配事業等を通じ、配達担当者の顔が見える安心から築き上げた、組合員とのつながりを強みとして加入者を増やしています。

■2016年度から電気小売事業に取り組む生協組織 (以下2017年3月時点の日本生協連把握分)

生協名	商標	事業主体	事業開始年月
大阪いずみ市民生協	コープでんき	大阪いずみ市民生活協同組合	2016年4月
コープさっぽろ	●コープのでんき● トドック電力	(株)エネコープ	2016年6月
		(株)トドック電力	2016年6月
生活クラブ連合会	電気の共同購入	(株)生活クラブエナジー	2016年6月
生協グリーンコープ連合	グリーンコープ電気	(一社)グリーン・市民電力	2016年7月
パルシステム連合会	パルシステムでんき	(株)パルシステム電力	2016年10月
コープしが	コープでんき	コープしが	2016年11月

■2017年度の春から電気小売事業に取り組む予定の生協

生協名	商標	事業主体	事業開始年月
京都生協	コープでんき	京都生活協同組合	2017年4月
ならコープ	ならコープでんき	(株)CWS	2017年4月
コープこうべ	コープでんき	生活協同組合コープこうべ	2017年4月

2016年度は、コープさっぽろ、生活クラブ連合会、パルシステム連合会、大阪いずみ市民生協、コープしが、生協グリーンコープ連合の6つの生協組織が参入。2017年度も京都生協、ならコープ、コープこうべの3生協が春から参入するなど、引き続き電気小売事業の拡大を予定しています。

日本生協連では、2020年までに事業用電気の20%を再生可能エネルギーに転換することを目指すなど、今後とも環境・エネルギー問題の課題解決に取り組んで参ります。

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03-5778-8106